

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

けだ

No.133

いけだ市議会だより

平成25年(2013年)5月1日



3月定例会 . . . 2

意見書 3

議会日誌 3

各派代表質問 . . . 4

委員会レポート . . . 10

議決結果 12

やまばと 12

池田駅前公園から池田市役所庁舎をのぞむ

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。



3月定例会は、3月4日に開会し、平成25年度各会計予算や職員の給料を減額する特例条例の制定、地方分権一括法に係る各条例の一部改正など議案47件、並びに人事案件2件が市長から提出され、本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、市長の「平成25年度施政および予算編成方針」と、教育長の「平成25年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を7日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして、27日には、追加議案2件と、議員報酬を減額する特例条例制定の議員提出議案を審議し、いずれも原案どおり可決し、3月定例会を開会しました。

一般会計予算は 355億円

平成25年度当初予算総額は、746億2132万円で、前年度当初予算と比べて、1.1%、7億9174万円の増となっております。

一般会計予算は355億1500万円で、前年度比で1.7%、6億2500万円の減となっております。

主な事業内容では、大災害等を見据えて、市民の安全確保並びに情報発信の拠点となる府・市合同庁舎の耐震補強工事を昨年度から二か年事業

として実施しており、今年度は3億9810万円が予算化されています。また、大阪府からの事務移譲により、パスポート発給事務が本年度から実施されます。

福祉分野では、子育て支援の推進を図るため、通院医療費の助成を全ての児童に対し、小学校3年生まで助成する事業（2億139万円）や、障がい者の自立の促進を図るため、障害者地域支援センター運営事業（4129万円）が計上されています。

教育分野では、いじめ、不登校、発達障がい等、学校生

活の悩みに迅速かつ適切に対応するため、小学校にスクールカウンセラーを派遣する事業（147万円）や、中学校給食実施に向けた施設整備事業（2億4300万円）及び運営事業（4813万円）が、そして、中央公民館の建替事業には4億3528万円が計上されています。

商工分野では、池田市内の観光スポットや回遊ルート情報を集約して紹介する拠点として、観光案内所整備関連事業（1213万円）を計上。

環境分野では、街路灯照明の蛍光灯をLEDに変更する事業（920万円）が、土木分野では、五月山ふれあい動物園整備事業に4200万円が計上されるなど、時代の要請にこたえるため、さまざまな事業が実施されます。

一般会計予算での反対意見として、公共施設管理公社への予算執行については第三者委員会の調査結果が明らかになるまでは賛成できない他、保育所民営化は公的保育の崩壊につながる、地域分権制度における補助金支出は容認できない、細河中学校区の施設一体型小中一貫校の建設については様々な課題が残っているなどの意見がありました。

一方、賛成意見としては、厳しい財政状況の中にあって、行財政改革プランの確実な推進、教育施設や府・市合同庁舎の耐震化の取り組みは高く評価できる。また、子育て支援については、子育てを各家庭だけに任せるのではなく、国や自治体がいっしょになって子どもを育てていくという考え方が必要になっていく、そういったことを踏まえた子育て支援策が措置され、障がい者施策も充実しており賛成する。そして、観光施策の拡充を中心に、まちの活性化を図られようとする予算であり、高く評価するとの多数をもって原案通り可決しました。

その他、平成24年度一般会計補正予算を審議し、全会一致で可決しました。特に、国の日本経済再生に向けた緊急経済対策を活用して、小中学校耐震補強工事及び空調機器整備等に11億2390万円の事業費を計上し、耐震化の早期完了を目指してまいります。

公社の調査を行う第三者 委員会が4月から調査開始

財団法人池田市公共施設管理公社における補助金の執行状況等を調査する委員会条例



平成 25 年度 池田市会計別予算

会 計 名	予 算 額
一 般 会 計	355億1,500万円
特 別 会 計	
国民健康保険特別会計	109億5,059万円
財産区特別会計	3億4,545万円
介護保険事業特別会計	74億7,675万円
後期高齢者医療事業特別会計	16億9,189万円
企 業 会 計	
病院事業会計	119億5,506万円
水道事業会計	35億 318万円
公共下水道事業会計	31億8,340万円
合 計	746億2,132万円

を全会一致で可決しました。
この委員会では、本市が補助金を交付した公共施設管理公社の事業や公の施設の管理業務の執行状況などについて審議し、市長に対して意見を述べます。委員の人数は3名以内とし、学識経験者として大学教授、弁護士をそれぞれ1名、識見者1名。委員会の開催は、4月から6月までの間に計5回を予定しております。
なお、原案に対し、公募による委員を加え、委員数を5名とする修正案が提出されましたが、審議される内容が専門的であり、公募による委員選出は難しい。また、公募を

行つと委員選出に時間がかかり、委員会の開催が遅れてしまつとの意見により、賛成少数で修正案は否決されました。

議員報酬を
引き続き10%削減

平成23年7月より実施しております。議員報酬の10%削減を引き続き行つたために、特例条例を全会一致で可決しました。期限は平成27年3月までです。

提案理由としては、池田市の財政状況は、法人市民税の変動による地方交付税の大幅な削減や扶助費の増加、また小中学校の耐震補強工事などにより大変厳しい状況が続いており、さらに、地方議員年金制度の廃止に伴い、年金財源の確保が必要であるなど、財政を圧迫する要素が多くあることをこまえたものです。

◆ 意見書 ◆

3月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。
・PM2.5対策の強化を求める意見書

平成 25 年度重点施策

事業名	予算額	事業内容
旅券発給事務事業	268万円	6月3日より、池田市民や池田市に居所がある方を対象に、パスポートの申請受付及び交付を行う。
観光案内所整備・管理運営事業	1,213万円	阪急池田駅とインスタントラーメン発明記念館との間に観光案内所を設置し、記念館の来館者をより多く取り込むことで、市内の観光案内及び回遊につなげていく。
児童医療事業	2億139万円	児童の通院にかかる医療費助成の対象者を「6歳到達後の最初の3月31日まで」から「9歳到達後の最初の3月31日まで」に拡充する。 (入院については、15歳到達後の最初の3月31日まで)
中学校給食実施事業	2億9,113万円	平成26年4月から市立5中学校同時に民間調理場活用方式で完全給食を全員喫食制で実施できるよう、施設整備等を進める。

議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月13日に臨時会を開催する予定です。
6月定例会は、次の日程で開催する予定です。

6月 7日(金)本会議
6月11日(火)委員会
6月13日(木)委員会
6月14日(金)委員会
6月19日(水)委員会
6月27日(木)本会議
6月28日(金)本会議

議 会 目 誌

2月 2月27日 予算内示会
各派代表者会議
議会運営委員会

3月 3月4日 市議会定例会
市議会だより
編集特別委員会
3月7日 市議会定例会
3月8日 市議会定例会
3月11日 土木消防委員会
3月12日 厚生委員会
3月15日 文教病院委員会
3月18日 総務委員会
3月27日 各派代表者会議
議会運営委員会
市議会定例会

4月 4月11日 市議会だより
編集特別委員会
4月16日 市議会だより
編集特別委員会

代表質問

自らの責任で
特色あるまちづくり、
賑わいと交流の創生



質問者 前田 敏

民主党議員団
前辻内
田 藤
隆
敏児勝

空港周辺遊休地の有効活用は

問 大阪国際空港は新会社発足に伴い、プロペラ枠50便の拡大や機材充実、ダイヤ改正等から、好影響を期待するが、周辺遊休地の有効活用に向けて、積極的なアプローチが必要である。活性化を含めた具体的取り組みについて問う。

空港を活かした地域づくりに努力

答 本市域の通称「北貨物地区」は約5万3600㎡あり、商業施設、体験施設、医療・教育施設等を検討中で、国土地は売却処分と聞いている。第6次総合計画において、空港施設の有効活用と関連施設の誘致など「空港を活かした地域づくり」に資する為、新会社へ積極的に働きかけ、周辺地域の発展と本市の活性化に向け、全庁一体で取り組む。

ガーデンシティと温州みかん

問 池田のまちづくりに期待できるガーデンシティ構想の具体的な内容。「池田温州」は市民のアイデンティティを膨

らます意義があるが計画は、豊かな自然でまち・人づくりに

答 細河の田園・植木地帯、猪名川・余野川などのロケーションを庭と見たてて、まちづくり・人づくりに活用する。市民一人一人の心に池田への愛着と優しい心を育て、五月山ふれあい動物園整備、猪名川さくら植樹など自然や歴史・文化の充実を目指す。大正時代に盛んに作られた池田みかん復活は、シティ構想の一環として、五月山公園などに今秋100本植え付ける。

つながりシートの具体的な活用方法は

問 だれもが自分らしく生きていくために発達障害への取り組みは重要で、生涯にわたる支援をどのように考えるか。

乳幼児から成人まで一貫の支援に

答 成長段階に応じた個別情報を関係機関で共有し、継続的な支援を可能とする。時系列の支援や記録を基にステップ毎の達成度に応じた個別支援計画や支援提供を通し、そ

れぞれの機関の機能を最大限に活かし、適切な支援を行う。

公共施設の財政運営に与える影響

問 耐震化や老朽化に対応した維持更新対策は、財政需要の把握など、今後の行財政改革に大きな影響を与えるが、具体的取り組みについて。

経費算定など財政面の検証は必要

答 公共施設の維持更新対策は、現在のコストのみならず、維持補修ならびに将来の財政需要の把握が重要である。本年度は資産白書を作成し、現況と長期的経費を概算し、財政的な検証をはじめ地域の共同利用施設など、会館施設などのあり方の検討に着手する。





各派

公明党議員団



質問者 多田 隆一

生活者の視点に立って
将来につながる
施策の実現を

吉本光夫
木ノ平恵子
馬坂隆一
多田隆一

山の家で実施の 不登校対策とは

問 教育委員会が不登校対策事業を委託し、山の家で実施されているスマイルファクトリーの取り組みが、高く評価され大きな注目を集めていると聞かすが、その内容は、また、さらなる事業展開で、池田市の教育力の向上につながるということができないか。

学校復帰への 有効な支援が可能

答 スマイルファクトリーは、山の家において不登校児童生徒へ居場所を提供し、在籍校と連携して学校復帰に向けて取り組んでいる。NPOの独自性と機動性、柔軟性、広いネットワークを活用し、多様なニーズに対応。学校復帰への有効な支援だと認識。

児童医療費助成 将来の展望は

問 児童医療費助成制度で、対象年齢を小学校3年生まで引き上げられることを高く評価する。将来のさらなる拡充の可能性について問う。

長期的な財政見通しで 検討する

問 市民ニーズや、国・府の動向、長期的な財政見通しなどを総合的に勘案し検討する。

防災物資備蓄センター 設置が必要

問 現在の防災物資の備蓄量は、また、各小学校区の拠点へ補給する「防災物資備蓄センター」が必要ではないか。

市有地等を活用し 積極的に検討

問 現在の備蓄量は、大阪府の目標量以上を確保。

通学路の安全確保 つらなる向上を

問 昨年行われた、通学路の安全点検の結果は、
国の「防災・安全交付金」で、交通事故から子どもを守るための財源が盛り込まれているが、活用するべきでは。

危険箇所 交通安全施設を設置

問 警察や教育部門と連携して、通学路の安全点検を校区単位で実施した。危険箇所については、カーブミラーやグリンベルト等の交通安全施設の設置に取り組んでいく。

中学校給食 安心・安全な食育を

問 中学校給食が、平成26年度から民間調理場活用方式で全中学校一斉に実施されるが、残食問題、食物アレルギー対策、食材指定、メニューの選定、単価などについて問う。

細かな対応で 安全な給食を提供

問 教育委員会において、食材発注、献立作成、調理委託業者への指導、現場への立ち入り検査、教職員への事前の研修等を実施予定。給食センターと同様の質を目指す。



代表質問

まちの見張り番議員団

中山 西昭夫
山口 勝平
黒口 善雄



質問者 山口 勝平

市民との信頼関係第一
公社との取引は明確に
真相解明を

公共施設管理公社への 発注は

問 平成25年度の委託事業費、補助事業費それぞれいくらか。新聞報道では不明瞭な契約や、非常時に連絡が取れないような公社に本年度も発注するのか。

約8億5千万円 公社の自身は精査

答 一般会計で委託料は4億6644万7千円、補助金は3億8488万円。公社の自身を精査する第三者委員会を本議会の追加議案として提出し、早急に機能させるよう副市長に指示した。

学校施設再編整備計画の 変更は

問 計画に基づく細河地区の一貫校の建設費用が本予算に計上されていないのはなぜか。石橋・北豊島地区の計画立案後変更があるようだが、修正版は出来ないのか。

細河は財政が許す限り 早急に着手

答 厳しい財政状況ではあるが計画は実施していく。石橋

市立池田病院の 経営状況について

問 業務改善のため事務内容をゼロベースで見直す、の真意は。昨年投入した補助金5億円の補助基準と、精算方法について問う。

業務改善は23年から 進めている

答 平成25年度からは負債の無い状況からスタートするのだから、本来得られる診療報酬の取り漏れや、経営の在り方などをチェック、委託業者の変更も検討。補助金は地方公営企業法第17条の3に基づいている。精算はしない。

公共下水道の 赤字改善策は

問 経営健全化は料金値上げでは解決しない。分流化、一般会計の負担の強化など、抜

本的な見直しを考えているか。

赤字の要因は 下水道使用料の減少

答 汚水・雨水の分流化にも経費が掛かり長期的に市民に負担を求めなければならぬ。市民負担を抑える努力の中で分流化を進めている。

市税収入の増減を どう予測するか

問 法人市民税は景気動向に左右され見通しは困難。経常収支比率は101.4%と財政は硬直化しているが、本年度目標はいくらか。達成のための改革手段はどうか。

予測は困難 改革実現に努める

答 経常収支比率目標は90%。税などの徴収率向上に努める。





各派

市民クラブ議員団

川山 渡松
西田 邊本
二正 千
郎 司 芳 眞



質問者 川 西 二 郎

大阪国際空港活性化と 観光施策、 高齢者安否確認の強化

国内長距離便の 運用制限見直しは

問 大阪国際空港の活性化には国内長距離便の運用制限見直しが課題。増便の予定は。

運用制限の 見直しには至らないか

答 夏ダイヤにおいて、函館便が再開し、5月からは札幌便1便が増便される。札幌便はジェット枠内での運航であり、この夏ダイヤにおいて国内長距離便の増便は図られたものの、長距離便の運用制限見直しには至っていない。

観光振興施策 今後の考えは

問 池田駅前周辺の観光施設と連携しながら有効活用が大切。また、年間60万人といわれるインスタントラメーション記念館来場者の誘導や、停滞化した商業エリアの活性化策など観光施策に期待するものは大きい。今後の施策について問う。

今後の展望を含めた ビジョン構築

答 観光客の増加や賑わいの

創出は、短期間で簡単にできるものではない。特に、経済的波及効果が図られる観光施策は、単に行政だけで実施するのではなく、商業関係者、施設管理者、観光協会など多くの団体や個人との連携によって、観光客が満足できる事業を実施できると考える。

今後は、観光施設や商業関係者との連携による「いけだ街あるき観光施設担当者会議」を実施し、今後の展望も含めビジョンを構築する。

高齢者の見守り体制は

問 現在、高齢者の安否確認などを実施しているが、どのように安全で安心に暮らせるまちを目指すのか。

見守り体制の 充実を図っている

答 安否確認は、対象者を65歳以上に限定した全数調査で、地域見守りホットラインは、年齢に関係なく市内に居住している者を対象としている。地域で孤立しないように「見守り体制」の充実を図り、住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるまちを目指す。

整形外科診療の 病診連携について

問 整形外科で外来を受け入れていない理由と、これに対する患者や市民からの意見や、今後の改善について問う。

地域医療支援病院として 役割分担

答 市立池田病院は地域医療支援病院になっており、手術や入院を必要とする患者に重点を置いた診療を担う必要がある。整形外科の外来診療については、医師の減員などからスムーズな診療が困難になったため、救急患者を除いて基本的にかかりつけ医の紹介状をお願いしている。患者や市民などの苦情は受付窓口で対応している。



代表質問

市民本位の
福祉・教育の推進、
清廉・公正な
市政運営を



質問者 難波 進

山藤 難波
元原 波
美知子 進
建子 進

日本共産党議員団

市長の政治姿勢を問う

問 市長の「口利き」や公社発注工事の見積書「偽造」などの疑いが浮上し、市民から不信や怒り・批判の声がある。公社に事業を丸投げしてチェックできなくしてきたのが問題。議会への報告を義務付け、公社の契約は高額な場合は入札を実施すべき。市長が、市や公社の入札参加業者とゴルフや車の交換など親密に付き合ひ、公社に業者を紹介したのは問題ではないか。

やまごころジュニア

答 公社については、本市の調査チームで調査し、第三者委員会に公正・中立な立場で審議していただく。

学校統廃合中止・計画延期を

問 「小学校をなくさないで」という地元の声に応え、地域の合意がないまま見切り発車しないこと。母校の存廃について子どもの声を聞くためのアンケートを実施すること。

よりよい教育環境の実現に努める

答 施設再編については、学校に通う子どもも含めて保護者、市民の意見を丁寧に聞きながらすすめる。

中学校給食は自校方式で実施を

問 デリバリー給食は、学校給食法の目的「食育の推進」にそぐわない。自校方式は、避難所の炊出し施設としても役割が大きい。「臨時交付金」活用で自校方式での実施を求める。

26年度からデリバリー方式で実施

答 費用対効果や安全性、実施時期など総合的観点から全中学校デリバリー方式を検討。

児童医療費助成の拡充を求める

問 子どもの医療費助成は、平成25年7月から通院が小学校3年生まで拡充されるが、全国的な状況にかんがみ、さらに中学卒業までの実施を求める。

通院を小学校3年生まで助成する

答 義務教育修了時までの拡充を前提とすれば、財源支出の増加幅と子育て世帯の負担軽減効果を考慮する必要がある。

保育所民営化を実施しないこと

問 自治体の役割を投げ捨てる保育所の民営化は行わず、直営を堅持し保育サービスの充実を図るべき。「臨時交付金」等を活用し、保育所増設で待機児童の解消を図ること。

民営化で効率的運営を高める

答 待機児童解消に努めるとともに、緑丘保育所民営化により効率的な運営をすすめる。公立保育所の増設は考えていない。



各派

自民同友会議員団



質問者 秦 寛房実

防災・減災に取り組み
自助・共助が
息づくまちづくりを

小 秦 細 榎 木
林 井 木 下
義 寛 房 克
典 房 実 馨 猛 重

新政権における 池田市への効果は

問 安倍総理のもと危機突破内閣が発足したが、池田市においてどのような効果や期待ができそうか。

臨時交付金を 活用していきたい

問 地域の元氣臨時交付金の活用や公共投資の地方負担の軽減による事業の前倒しなど、老朽化した市の施設改修や耐震化の促進に有効活用したい。

農園芸の 振興対策について

問 年々都市部では農地転用が、調整区域では遊休農地が増えているが、今後の対策は。

全国都市農業 振興協議会に参画

問 納税猶予制度や生産緑地制度などの対策が図られているが、農地は減少している。共通の問題を抱えている市町村が連携した全国都市農業振興協議会に参画していく。

市立池田病院 分娩の規模拡大は

問 池田市で唯一の分娩ができる施設として、今後規模を拡大するべきでは。

医師の増員を 要請する

問 現在、一カ月の分娩予定件数は35件としている。専門医師が1名しかいないので、医師の増員派遣を依頼しているところ。夏頃に分娩可能な助産院の開設が予定されているので協力をしていく。

防災能力向上と 減災について

問 地域防災力を向上し、減災を進め、自助・共助の輪の拡大をどのように進めるのか。

地域との連携や 防災訓練実施

問 各地域の自主防災組織と連携し、組織の活性化を推進、また防災・減災出前講座を実施し裾野の広がりを作り、自助・共助の輪を拡大していく。

地域見守りシステム について

問 防犯カメラの設置やICタグを活用した地域見守りシステムの拡大は。

積極的に 推進していく

問 防犯カメラについては犯罪の予防及び侵入に対し有用である。ICタグを活用したシステムは、登下校時の安全確認に有効なので今後全小学校に導入を進めていく。

教員人事権移譲 について

問 大阪府から教員の人事権が移譲されたが今後の展開は。

3市2町と 連携していく

問 平成25年度は大阪府と合同で募集し、試験を行い、新規採用をした。今後の展開は、府の教育委員会が行っていた選考や人事交流、法定研修などを3市2町で実施。池田市独自のふくまる教志塾などを活用し、優秀な人材の確保に努める。



委員会レポート



3月定例会では、市長から提出された議案のうち39件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月27日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

給与削減を継続中 削減中止のめどは

《池田市一般職の職員の給与に関する条例等に定める給料等の特例に関する条例の制定》

問 本市では平成15年から毎年給与削減が続いているが、どのような状況になれば削減を中止するのか。

今後数年は赤字の予測 長期展望を踏まえて判断

答 財政計画によると、今後数年にわたり、平均5億円から7億円の赤字が予測され、財政調整基金も枯渇する推計が出ている。財政計画も決算状況により見直しが必要であるが、標準財政規模に見合った財政調整基金を含めた長期展望の中で、赤字体質から脱却できれば、当然、給与削減も中止する考えである。

地域分権制度の問題点 見直しについての見解は

《一般会計予算》

問 地域分権制度については、市が地域コミュニティ推進協議会に補助金を支出し、同協議会が事業の実施主体になることにより、既存の地域団体の自主性を損ね、住民を分断する恐れがあるなど、地域分権制度の問題点が露呈する中、若干の見直しが必要と考えるが、見解を問う。

本年度予算から 徐々に転換

答 地域コミュニティ推進協議会からの提案事業を実施し

て5年が経過する中で、「各地域が予算消化主義に陥っている」「また、「行政の下請けになっている」との指摘が一部で出てきていることは承知しているが、制度の発端は、行政だけが独占してきた予算の構築作業において、民意を取り入れることが大きな狙いであった。

しかし、若干の制度的な問題が出ていることも否めない事実であるため、平成25年度より、市の関与や精査を容易にするため、予算枠をある程度限定し、市の緊急かつ必要性の高い事業に予算を執行できるように持ちかけていきたいと考えている。

文教病院委員会

中学校給食の実施 今後の計画は

《一般会計予算》

問 平成26年度から5中学校で給食を一齐に導入するため、平成25年度の夏季休暇中から施設整備工事が実施されることだが、給食導入に向けた今後の計画について問う。

また、今回委託することになった業者の、本市以外での給食業務の実績及び本市までの配送距離について問う。

今年度中に施設整備 3学期には試行日を予定

答 平成25年度予算で、各中学校の配膳室の整備や備品の購入などを予定しており、平成25年度の3学期にはデリバリー給食の試行日を数日設定して、本格実施に向け体制を整える予定である。

また、今回契約する業者の他市での実績等であるが、病院給食業務も実施しているが、調理時間帯が異なるため、本市の中学校給食に影響はないと認識している。

さらに、本社は大阪市内であるが、工場は西宮市にあるため、配送時間に無理はなく、保温・保冷車で配送を行うため、料理の質にも影響はないと考えている。



厚生委員会

子育てしやすいまちの構築 施策への取り組みは

《池田市児童医療費の助成
に関する条例の一部改正》

問 今回の条例改正では、より広汎に子育て世帯の医療費負担軽減を図るため、通院にかかる医療費助成の対象年齢を、9歳となる年の年度末まで拡充するが、厳しい財政状況の中、子育てしやすいまちを構築する施策への取り組みについて、市長の見解を問う。

財政推計等を勘案しながら 優先的に取り上げていく

答 子育て世帯や高齢者といった「社会的弱者」といわれる人たちへの施策を、池田市政での最重要課題として捉え、昨年から様々な施策に取り組んできたところである。児童医療費助成については、昨年実施した入院に係る対象年齢の拡充に引き続き、平成25年度は通院に係る拡充を図るものである。

今後のさらなる拡充については、財政負担が後年度にも

継続するものであり、慎重な対応が求められるが、財政推計を勘案し、また、行財政改革を含めた中で検討しながら、優先的に取り上げていきたいと考える。

未熟児養育医療給付事業 具体的な事業内容等は

《一般会計予算》

問 第2次一括法により権限移譲を受ける未熟児養育医療給付事業について、具体的な事業内容や対象人数等について問う。

未熟児の入院治療に対する 医療費助成を実施

答 本事業は、様々な未熟性により、家庭保育が困難なため入院治療を必要とする未熟児に対して、医療費の助成を行うものである。出生体重が2千グラム以下の未熟児で、一定の症状を有する者が対象となり、これまでの大阪府の実績等から平成25年度は22名が対象になると想定している。

実施にあたっては、従来の大阪府の規則をそのまま市の規則として制定し、府のマニユアルに従って実施するも

のである。

土木消防委員会

ごみ散乱防止ケージ購入補助 現状と今後の対策は

《一般会計予算》

問 ごみ散乱防止ケージ購入補助が120万円計上されているが、これは補助制度が始まった平成24年度と比較して90万円も減額となっている。設置による事故などが懸念されることで、設置が困難な状況になっていると聞かすが、申請件数等の現状と今後の対策を問う。

公道上での設置には 安全面などの制約あり

答 ごみ散乱防止ケージ購入補助制度が始まった平成24年度の申請件数は3件であった。また、設置については、私道では可能であるが、公道上に設置する場合には安全面などで制約があり、道路課や業務センターで設置場所を確認・審査し、設置の可否を検討していきたいと考えている。

今後の収支見込み及び 下水道使用料改定の見解は

《公共下水道事業会計予算》

問 本会計の純損失の主な要因は下水道使用料の減収ということだが、今後の収支見通し及び下水道使用料改定についての見解を問う。

使用料収入は減少傾向 料金の見直しは今後検討

答 昨今の水需要の減少に伴い、下水道使用料も減少しているが、減少幅については縮小傾向にあるため、下げ止まりが予想される。そこで、人件費や施設の更新・耐震化等を考慮し、料金体系の見直しも含め、経営の健全化について経営審議会で審議し、市民に過度の負担を強いることのない料金設定を、今後、議会に提案したい。



○市長提出議案及び議決の結果

議案名	議決の結果
池田市附属機関条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市一般職の職員の給与に関する条例等に定める給料等の特例に関する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
池田市都市の低炭素化の促進に関する法律に係る手数料条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市準用河川管理施設等構造条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市土地開発基金条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市老人医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市児童医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市立児童発達支援センター条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市営住宅条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市葬祭条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
池田市道路占用料条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市都市公園条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市下水道条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市立幼稚園条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市環境保全条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
池田市土地開発公社の解散について	原案可決 (全員異議なし)
第三セクター等改革推進債の起債に係る許可申請について	原案可決 (全員異議なし)
権利の放棄について	原案可決 (全員異議なし)

議案名	議決の結果
池田市道路線の廃止について	原案可決 (全員異議なし)
池田市道路線の認定について	原案可決 (全員異議なし)
財産区管理委員の選任について	同意 (全員異議なし)
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同意 (全員異議なし)
平成24年度池田市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全員異議なし)
平成24年度池田市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全員異議なし)
平成24年度池田市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全員異議なし)
平成24年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全員異議なし)
平成24年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全員異議なし)
平成24年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全員異議なし)
平成24年度池田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決 (全員異議なし)
平成25年度池田市病院事業会計予算	原案可決 (全員異議なし)
平成25年度池田市水道事業会計予算	原案可決 (全員異議なし)
平成25年度池田市公共下水道事業会計予算	原案可決 (賛成多数)
平成25年度池田市国民健康保険特別会計予算	原案可決 (賛成多数)
平成25年度池田市財産区特別会計予算	原案可決 (全員異議なし)
平成25年度池田市介護保険事業特別会計予算	原案可決 (賛成多数)
平成25年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決 (全員異議なし)
平成25年度池田市一般会計予算	原案可決 (賛成多数)
池田市市税条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
損害賠償請求事件の損害賠償額を定め和解することについて	原案可決 (全員異議なし)
平成24年度池田市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 (全員異議なし)
平成25年度池田市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全員異議なし)
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
財団法人池田市公共施設管理公社における本市補助金の執行状況等に関する調査委員会条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
平成25年度池田市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全員異議なし)

○議員提出議案及び議決の結果

議案名	議決の結果
池田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例に定める議員報酬の特例に関する条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)

3月議会は連日の新聞報道、記者たちが庁舎内を行き来する中、予定通り始まりました。傍聴席には市民や記者、テレビカメラ、マイクが陣取り、議場には緊張した雰囲気漂いました。

議案は条例の制定及び一部改正25件、平成24年度補正予算8件、平成25年度各会計予算8件、補正予算2件、その他8件の51議案を活発に審議し、全て可決しました。

(財)池田市公共施設管理公社と本市補助金の執行状況等に関する調査委員会が4月に設置されて調査を始め、6月末には答申が出る予定です。

さて、本号の編集が、現在の委員での最後の編集となります。この一年のご愛読ありがとうございました。

市議会たより編集特別委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員長
渡邊	前田	多田	山口	小林	山元	山元
千芳	隆一	勝平	義典	建		